

御船町教育フォーラム

町内の園児から大学生までが一堂にする「御船町教育フォーラム」が11月11日、カルチャーセンターで開催されました。教育のまちと学園都市構想の実現を目指した取り組みとして今年で5回目。ここでは、児童生徒が参加したパネルディスカッションで「すてきなまち御船町～みんな笑顔で健康いちばん～」をテーマにした発表を中心にお伝えします。



1.2. 司会進行を務めた御船中3年の山口泰平さん(1)と河地俊秀さん(2)
3. 組体操を披露したみどりの里の園児たち



小坂小・6年
やまうち ゆうな
山内 優奈さん
(小坂)

私の家の近くに「早ね早起き朝ご飯に家庭学習」と書いてある旗が立ててあります。生活のリズムが、とても大切なことだと感じています。生活のリズムが、くずれてしまうと体も健康ではなくなり、また、心の健康を考えると、家族や友達とケンカをした後は心の中にモヤモヤが残ってしまったり、忘れずにきずなや友情を深めていきたいです。生活リズムを整えながら、友だちとの友情を深め、体も心も健康にして笑顔で過ごしていきたいです。



高木小・6年
なかじょう まさき
中城 政旭さん
(高木)

ぼくが健康に暮らしていくために取り組んでいることは、家族や友達とたくさん話をする事です。夕ご飯の時にはその日にあったことを家族と楽しく話します。困った時や悩んでいる時にも話すことができるので心がスッキリします。学校でも友達に言われてうれしい言葉を見つけたら、やさしい声をかけたりするようにしています。体だけでなく、いつも笑顔で心も健康にしていきたいです。



御船中・3年
いけがみ ひろき
池上 大樹さん
(高木)

健康のためにする大切なことは体を動かすことだと思います。体力がつき病気に強くなると思うからです。僕は小さい頃は体が弱くよく熱を出していました。しかし、小学2年生の頃からサッカーをはじめ、自然と体力がつき病気も少なくなりました。健康でいられる要因の一つはサッカーを続けていることです。御船中では昼休みに体を動かして遊ぶ姿が少ないように感じます。一人でも多くの友だちを誘って戸外でも元気に過ごしたいです。



御船中・3年
おがた たかや
緒方 貴哉さん
(滝尾)

御船中では登校してくる生徒や地域の方々には校門前で「あいさつ運動」をやっています。一日の始まりはあいさつからと言われるように、朝から出会う人たちが一日を気持ちよく始めるために元気のいいあいさつが必要です。あいさつ一つで相手の気持ちも変わり、心も体も健康になると思います。「あいさつ運動」を通して御船町の多くの人が笑顔で健康であるためにとても大切なことに取り組んでいると改めて感じました。



滝尾小・6年
しまさき ゆな
島崎 由那さん
(滝尾)

滝尾小では「楽しく」「きたえて」「おおらかに」を目標に取り組んでいます。明るく楽しい学校にするために全校レクリエーションで「イカダ大会」をしました。「工夫・協力をテーマに全校児童のたてわり班でアイデアや意見を出し合いながらイカダ作りに取り組みました。いろいろな活動を楽しくするためにみんなは寒さに負けず元気に過すことが明るく元気な御船町につながっていくのではないだろうか。



御船小・6年
ながの りょう
永野 諒さん
(御船)

□**ソンドン**オリンピックでは日本選手の競技する姿を見て、感動しました。心も体も健康でなければ結果は出せないと思いました。笑顔で健康に過ごすために御船小では「朝の8秒間走」に取り組んでいます。学校全体の児童の体力をつけるために一学期から続けていますが、少しずつ体力がアップしていると感じています。また、企画委員会でありさつ運動に取り組んでいます。笑顔で大きな声であいさつできる人は心が健康な人だと思います。御船町があいさつであふれる町になればいいですね。



御船高校・1年
たちむら ゆうせい
立村 勇盛さん
(陣)

私は地域での人と人とのつながりが健康につながると思います。東日本大震災で避難されたお年寄りや、知らない土地で不自由な生活をされている方もいらっしゃると思います。私の住んでいる陣地区では、どんどこや神社で祭りをします。友達と行って楽しかった記憶があります。今、考えると地域での行事によって私たちが健康でいられたのかなと思います。があっちは祭りなどの町の行事もコミュニケーションの場となり健康につながっているのも、もっと人とつながることができるようなイベントを増やしてほしいです。



御船高校・1年
きし ななこ
岸 菜々子さん
(木倉)

御船町の良いところは自然がたくさんあること。なぜなら、そのおかげでおいしい水や食べ物ができるからだと思います。だから、私たちは健康でいることができます。私たちが健康を支える食を作るには環境が必要ですが最近では新しい道路や店舗が建設されて、昔山だった所は切り開かれ、今は大きな道路になっています。御船町には「自然と生活の豊かさとのバランス」が大切だと思っております。みなさんはどこまで豊かさを求めますか？今だからこそ、両方のバランスをとりながら住民の健康を考え、自然環境保護を主としていくべきだと思います。



木倉小・6年
ながの ありあ
永野 あいりさん
(木倉)

木倉小では1カ月に1回「健康こつこつチェックカード」を記入しています。児童一人一人が一週間の生活の仕方を振り返り、心と体が元気を調べています。また、「元気に過すために木曜日・金曜日には全校体育があって、たてわり班対抗リレーや綱引き大会をやっています。毎週水曜日は「元気モリモリデー」という日で昼休みは、全員外に出て遊びます。タイヤタワーやターザンロープなど木倉小自慢の遊具もたくさんあり、元気いっぱい遊んでいます。



七滝中央小・6年
そのだ みく
園田 美紅さん
(七滝)

健康な体をつくることは自分の将来の夢を叶えるために必要です。私は自分の体を健康に保つために、「いやなこと」を心にとめてこまめに反省をします。特に「いやなこと」や「悲しかったこと」はその日のうちに話し合ったり解決したり、みんなに伝えていきます。「いやなこと」をため続けると体調も悪くなります。その日の出来事はその日にはき出して、次の日を元気に過ごしています。